

第二回定例会

3月定例会は3月8日に招集され、18日までの11日間の会期で開催された。
報告2件、人事案1件、条例案14件、予算案19件、事件案7件、専決処分事項の報告1件の町側から提出された議案42件を原案どおり承認・可決・同意した。

質 疑

Q 北小学校の改造内容と工事期間は。また南小学校の設計委託料500万円の内容は。

A 北小学校の校舎などの大規模改造工事内容は、建設から36年が経過し、経年による損傷が進み、校舎施設の長寿命化を図ることと、学校生活を送るうえで児童の安全確保を図るため、大規模改造を行う。
工期は、5月下旬から10月末を想定し、児童や学校の運営に影響がないよう、夏休み期間を主に計画している。

南小学校も北小同様に36年経過しているため、大規模改造を行なう。

平成25年度は実施設計を行い、平成26年度に工事を

行う。内容は北小同様、屋根、外壁、床、トイレなどの改修のための設計委託料である。

Q 図書購入費624万円は、近隣市町村と比較して多いのか、少ないのか。

A 小諸市は815万円、佐久市は中央、中込、臼田、浅科、望月等含め1千800万円、軽井沢町が900万円、佐久穂町が400万円である。

それぞれの図書館の規模や蔵書スペースも違うので比較はできないが、図書購入費がほかと比較して、少ないということはないと考える。

Q 新斎場建設の当町の負担割合と負担額は。

A 24年度と25年度合わせた総額は、1億4千800万円です、これが最大の支援額と

A 御代田町が全体事業費の7・03%の負担となり、負担金額は、2億5千300万円余になる見込みである。23年度から事業は始まっており、23年から25年度までの負担金として2千563万円余を計上した。

Q 佐久広域連合佐久医療センター整備負担金1億4千400万円が計上されているが、上小広域連合の負担金が、佐久広域の見積りよりも少なかった。このことによる町の負担金の増減の可能性は。

上小広域連合の財政支援は、予定であり、この支援額が決定された後、佐久広域連合の支援総額の調整が図られる。
今のところ佐久広域連合全体の支援総額は、減額の方で動いていると考えている。



建設中の佐久医療センター

人事案件

御代田財産区管理委員会

駒村 眞一氏 栄町

板橋 三雄氏 西軽井沢

市川 基氏 荒町

土屋 延男氏 児玉

柳澤 忠良氏 小田井

尾台 吉正氏 上宿

櫻井平次郎氏 栄町

を同意

※任期は平成25年4月1日から平成29年3月31日まで

一般質問

質問議員 10名

古越日里
仁科英一
野元三夫
市村千恵子

池田健一郎
古越弘
小井土哲雄

東口重信
笹沢武
茂木勲

質問事項 (本号掲載以外のもの)

- 教育の振興について…古越日里
- 町民の森について…池田健一郎
空き家の管理対策は
- 地方公務員の給与・退職金の引き下げについて…東口重信
- 企業誘致の考えはあるのか…仁科英一
- 災害相互協力協定について…笹沢武
- 健康で安心して生活できる町づくりとは…野元三夫
- 業者による無料回収の実態について…小井土哲雄

地域防災計画の見直しは

減災という概念で見直した

古越日里 議員



問 防災計画の

- 1、見直しをした点は
- 2、消防活動について
- 3、防災無線について
- 4、町民の森に国土交通省が計画している浅間山直轄火山砂防事業（ストックヤード）について

総務課長

1、町の見直しでは計画の根幹である基本方針に減災という考えを取り入れ、災害を最小限に留め、人命救済を最重視した防災計画とした。

具体的には、原発事故を受けての原子力災害対策、浅間山の火山泥流を想定した対応、防災無線を利用した避難などを取り入れた。3、防災無線放送に関して、音が大きい、反響により放送内容が聞き取れないなどの苦情がある。そこで放送原稿はできる

だけ端的に、単語は区切りながら話すなどの工夫をしている。解消されない場所は、現地調査をし機器の設定条件を変えるなどの対応をする。

企画財政課長

4、浅間山の噴火による融雪型泥流や土石流を防ぐための堰堤に使用するコンクリートブロックのストックヤードを、「町民の森」の一部を使用したいとの国からの要望が有る。

町としては、浅間山の防

災、減災に関する事業なので、道路問題・環境問題等の課題の対応を段階をふみながら、地元の理解を得て事業を進めていきたい。住民説明会も開催し、町民に説明していく。



救急救命講習